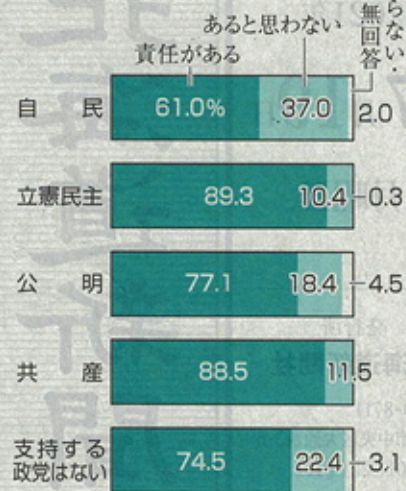




全国世論 無党派74%総理に責任

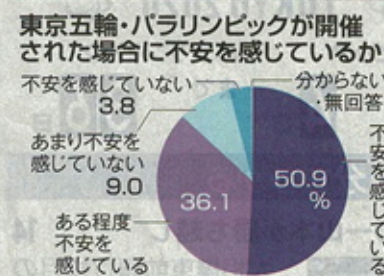
酒提供店との取引巡る 混乱の首相責任



全国世論調査 無党派74%「首相に責任」

共同通信社の世論調査によると、政府の新型コロナウイルス対策で、酒類を提供する飲食店との取引停止要請の混乱について支持政党別に見たところ、「支持する政党はない」とした無党派層の74.5%が「首相に責任があると思う」と回答した。「締め付け」と受け取れる施策への反発が表れたようだ。

野党支持層では立憲民主党89.3%、共産党88.5%が「責任がある」と答えた。与党支持層でも自民党で61.0%、公明党77.1%に上った。「責任がある」の回答を年代別に見ると、30代以下の若年層の69.4%、40代、50代の中年層の72.5%、60代以上の高齢層の74.1%。年齢層が上がるほど高くなった。男女別を組み合



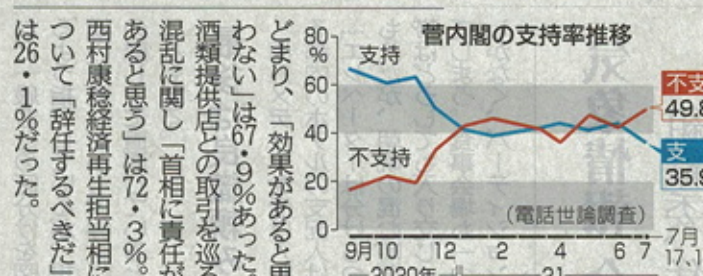
共同通信社の全国電話世論調査で、23日に開幕する東京五輪の競技実施を「楽しみにしている」と答えた人の割合は「どちらかといえば」を含めて計71.0%に上った。五輪・パラリンピック開催による新型コロナウイルスの感染再拡大に不安を感じている人が計87.0%もいる中、競技への興味や関心の度合いは高い実態が明らかになった。大会開催による感染再拡大に「不安を感じている」人の計62.6%が「適切」と回答。「ある程度不安を感じている」人も計78.8%が「適切」と答えた。新型コロナウイルスを巡る政府対応を「評価しない」人も計63.1%、「評価する」人は計86.4%が楽しみとした。五輪開催で観客の取り扱いはどうかという点では、4度目の緊急事態宣言の発令を受け、首都圏の1都3県に加え、北海道や福島県も無観客で実施することになった。

わけて分析すると、高齢層女性の77.8%が最も高くなり、最も低い中年層男性の68.4%より9.4ポイント高かった。首相に責任があると答えた人の中で、取引停止要請に言及した西村康稔経済再生担当相について「辞任するべきだ」と回答したのは26.1%だった。

五輪無観客「適切」43%

不安を感じている人が計87.0%もいる中、競技への興味や関心の度合いは高い実態が明らかになった。大会開催による感染再拡大に「不安を感じている」人の計62.6%が「適切」と回答。「ある程度不安を感じている」人も計78.8%が「適切」と答えた。新型コロナウイルスを巡る政府対応を「評価しない」人も計63.1%、「評価する」人は計86.4%が楽しみとした。五輪開催で観客の取り扱いはどうかという点では、4度目の緊急事態宣言の発令を受け、首都圏の1都3県に加え、北海道や福島県も無観客で実施することになった。

内閣支持最低35% 五輪で感染拡大「不安」87%



共同通信社が17、18両日に実施した全国電話世論調査によると、菅内閣の支持率は35.9%で6月の前回調査から8.1ポイント急落し、昨年9月の内閣発足以降最低となった。不支持率は49.8%で菅内閣として最も高く、支持率は13.9ポイント上って逆転した。東京五輪・パラリンピックにより新型コロナウイルス感染症が拡大する不安を聞いたところ、「ある程度」を含め「不安を感じている」との回答が計87.0%に上った。内閣支持率急落の背景には、首都圏などの感染拡大やワクチン接種の予約停止、酒類を提供する飲食店との取引停止要請を巡る混乱があると思われる。政府が東京都に発令した4度目の新型コロナウイルス緊急事態宣言については「効果があると思う」は29.4%にと

18日投票開票の石狩管内別町長選で、新人同士の一騎打ちを制して初当選した。『別町の発展を加速的に進めるため、皆さんと力を合わせていきたい』と支持者たちへのあいさつで、決意を述べた。

町内の当選者の宮司の家に生まれた。皇學館大学で、同神社の神官、宮司を歴任。一方で、1993年に神社の責任役員から要請を受け町議補選に出馬した。以来8回連続当選し、町議会議長も務めた。現職の宮司正毅町長の不出馬を受け、町議と宮司の職を辞し、町長選に臨んだ。町議初当選時の経歴が町政を担う決意の原動力。同時に「新たな2人にやる町長選が、まちを二分する激しい選挙戦となり、自身の選挙事務所も荒らされた。『種をまいても砂地で育たない。当選を変えたい』と誓ったという。

町長選に出馬するに当たり、「人口減が著しい今こそ、まちを一つにして進む必要がある」と、あえて自身が所属していた会派とは別会派の町議に後援会長を依頼。宮司町政の継承を掲げて選挙団体などからの支持も取り付け「オール別町」とも言える体制を整えた。

別町の人口は現在1万5千人台で、ピーク時の2万人台から減少。衰退を覚悟し、選挙戦では教育を軸にした子育て環境の充実やデジタル化推進による農業振興などを訴えた。「別町で子どもに教育を受けさせたい」と思える状況をつくり、少子化や人口減に歯止めをかけたい」と意気込む。

3人の子ともは独立し、妻と母との3人暮らし。66歳。

(伊藤静) 1面参照

新しい石狩管内当別町長 後藤 正洋さん

トヨタ自動車は19日、ハイブリッド車(HV)専用的小型車「アクア」を約10年ぶりに全面改良し発売した。新開発の高出力電池を採用し、加速性能を高めつつ燃費を約20%改善した。希望小売価格は198万円から。

ニッケル水素電池の部品を減らしてコンパクトにしたことで電池を多く積めるようになった。電池の出力は従来の約2倍となり、スムーズな加速を実現。ガソリンを使わず電気だけで走れる場面が増えた。ガソリン1リットルで35.8キロ走行できる。ボタン操作だけで駐車できる機能を高級車以外で初めて導入した。

販売目標は月9800台。14日時点ですでに約1万5千台の予約が入っているという。